

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年11月26日～12月2日)

平成 27 年(2015 年)12 月 4 日

H E A D L I N E S

## 政治

下院, 憲法法廷の新判事5名を選出  
 シドゥウォ首相, トゥスク欧州理事会議長と電話会談  
 ヴァシチコフスキ外相, ドイツを訪問  
 シドゥウォ首相, EU・トルコ首脳会合に出席  
 レオパード戦車の納入が終了  
 ヴァシチコフスキ外相, NATO外相会合に出席

## 経済

資産40億ズロチ以上の銀行に課税  
 2015年予算案の修正  
 選挙公約関連法案の下院提出  
 円建て国債の発行を検討  
 第三四半期のGDP成長率は3.5%  
 デフレは今年中継続の見込み  
 より多くの海外資産を-KGHM  
 5社が原発建設計画入札への参画を希望  
 COP21でのシドゥウォ首相スピーチ  
 エネルギー大臣の正式任命  
 ポーランド人若者の多くがより高い教育を受けている

## 大使館からのお知らせ

領事アンケートへの御協力について  
 ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起  
 大使館広報文化センターの開館時間について  
 東日本大震災義捐金受付について  
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！  
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

## 政 治

## 内 政

下院、憲法法廷の新判事5名を選出【12月2日・3日】

12月2日、下院は与党「法と正義」(PiS)の推薦する憲法法廷の新判事5名を選出した。翌3日、ドゥダ大統領は4名の判事からの宣誓を受け入れた(残りの1名は前任の任期が終了する12月9日に宣誓を行う見通し)。憲法法廷判事の人事を巡っては、5名の判事の任期が政権交代の時期の前後(3名の判事が前政権下、2名の判事が現政権下)に終了する状況にあった中、前期の下院が本年6月に前与党が提出した関連修正法案を可決し、10月に5名の新しい判事を選出していた。他方、ドゥダ大統領は、前期の下院が選出した判事5名の宣誓を受け入れず、11月に現与党主導の憲法法廷判事5名の人事を新たに行うことを可能とする関連修正法案が可決される動きがあった。

このような中、12月3日、憲法法廷は、上記の本年6月の関連修正法案の合憲性に関する判決を下し、前期の下院が前政権下で任期が終了する3名の判事の後任を選出したことは合憲であるが、残りの2名の判事を選出は違憲である、また、ドゥダ大統領は憲法に従い下院選出の判事の宣誓を速やかに受け入れる必要があるとの判決を下した。これを受けて、同日、ドゥダ大統領は、国民向けのTV演説を行い、前期の下院による判事選出は法的に瑕疵があった、自分は憲法法廷判事選出及び同法廷の機能につき作業する専門家チームを招集する旨述べた。

本件を巡っては、12月8日に11月の現与党主導の関連修正法案の合憲性に関する憲法法廷判決が下される予定であり、本件を巡る混乱した状況が続いている。

## 外交・安全保障

シドゥウオ首相、トウスク欧州理事会議長と電話会談【11月26日】

11月26日、シドゥウオ首相は、トウスク欧州理事会議長と初の電話会談を行い、主に直近行事であるEU・トルコ首脳会合及びCOP21につき意見交換した。トウスク議長は、シドゥウオ首相に対し首相就任への祝意を表した。

ヴァシチコフスキ外相、ドイツを訪問【11月26日】

11月26日、ヴァシチコフスキ外相は、ベルリンを実務訪問し、シュタインマイヤー独外相と主にパリ連続テロ事件を受けての欧州政治情勢、難民問題、安全保障政策、エネルギー政策を含む二国間の重要課題につき意見交換した。ヴァシチコフスキ外相は、ポーランド・独関係は安定した基盤の上に成り立っており、共にEU及びNATO加盟国として、政治、経済、社会において非常に多くの接点を有している、そうした環境があるからこそ開かれた議論が行える旨述べた。

シドゥウオ首相、EU・トルコ首脳会合に出席【11月29日】

11月29日、シドゥウオ首相は、ブリュッセルにて開催されたEU・トルコ首脳会合に出席し、主に難民問題、エネルギー、トルコのEU加盟問題等に関する議論に参加した。シドゥウオ首相は、難民問題に関し、我々は本件問題を第一にEU域外にて解決する決

定を下した、ポーランドはトルコへの資金支援に公正な形で参加する旨述べた。また、シドゥウオ首相は、この機会にV4(ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリー)首相会合に参加した他、シュルツ欧州会議議長と会談した。

レオパード戦車の納入が終了【11月30日】

30日、2013年にポーランドがドイツから購入を決定した中古のレオパード2A5戦車200台の最終納入が終了し、ポーランド西部のザガン市に到着した。本契約は1.8億ユーロ規模であり、同市の第34装甲騎兵旅団にて使用される。

ヴァシチコフスキ外相、NATO外相会合に出席【12月1日・2日】

12月1日・2日、ヴァシチコフスキ外相は、ブリュッセルにて開催されたNATO外相会合に出席した。ヴァシチコフスキ外相は、今次外相会合にて決定されたモンテネグロのNATO加盟招待につき、モンテネグロのNATO加盟は政治的に重要であり、ポーランドは今次決定を嬉しく受け止めている旨述べた。また、同外相会合に際して来年7月8日及び9日に開催予定のNATOワルシャワ首脳会合のロゴ・マークの発表が行われた。ヴァシチコフスキ外相は、この機会に、ケリー米務長官及びモゲリーニEU外務安全保障政策上級代表と個別会談を行った。

## 経 済

## 経済・財政政策

**資産40億ズロチ以上の銀行に課税【27日】**

コヴァルチク無任所大臣によれば、2016年に導入される予定の銀行税は、資産40億ズロチ以上の銀行に課されるとのこと。比率は当初予定された0.39%を維持する予定で、市中銀行に加え投資ファンドも対象になるとのこと。

**2015年予算案の修正【1日】**

シドゥウオ首相は、前政権が作成した2015年予算案の修正が必要であり、これにより財政赤字が50-100億ズロチになる見込みと記者会見で言及。シャワマハ財務大臣は、財政赤字を(EU基準である)GDPの3%以下に抑えるよう努力するものの3%を超える可能性は排除されないと発言。

**選挙公約関連法案の下院提出【1日】**

コヴァルチク無任所大臣(閣僚評議会常設委員長)がラジオ番組で述べたところによれば、PiSの選挙公約である銀行税導入のための法案が今週には準備され、歳入は50億ズロチに達する見込み。なお年金受給開始年齢引き下げ(男性65歳、女性60歳)及び一人当たり年間所得税控除額の8,000ズロチまでの引き上げについて、法案は既に下院に提出済みであり、児童手当(第2子目以降一人当たり500ズロチ/月)については来年2月に下院に法案提出見込の由。

**円建て国債の発行を検討【3日】**

シャマワハ財務大臣はガゼッタ・ポルスカ紙とのインタビューで、ドルやユーロ以外の通貨以外での国債の発行を検討しており、スイスフランは望まないとしつつ、例として円建て債券(サムライ債)に言及。

## マクロ経済動向・統計

**第三四半期のGDP成長率は3.5%【30日】**

中央統計局(GUS)によれば、第三四半期のGDP成長率は対前年同期比3.5%で、速報値の3.4%が上方修正された。財務副大臣によれば2015年全体のGDP成長率は3.4%となる見込み。

**デフレは今年中継続の見込み【2日】**

ベルカ中央銀行(NBP)総裁によれば、消費者物価指数(CPI:10月は対前年同月比-0.7%)は、12月から来年1月にはプラスに転じると見込まれるものの、2016年中にインフレ目標値の下限1.5%を上回ることはないとの予想。

## エネルギー・環境

**より多くの海外資産を-KGHM【27日】**

KGHM社のWirth社長はインタビューの中で2020年までにチリのシエラ・ゴルダのような海外資産をより多く保有したいと述べた。現時点で買収の話は出ていないが、同社の2015-2020年の戦略では、270億ズロチを新計画に投資し、自社資産からの銅生産を100万トンまで増加させることを目標としている。また、海外資産による生産の割合を現在の17%から40%に増えたと見込んでいる。他方、近年の銅の国際価格下落が同社株価に影響を与えていることが懸念材料としてあり、このことは同社だけでなく他の国内企業にも影響を与えているという報道もある。PiS(法と正義)が選挙中に掲げていた鉱山に関する新たな税の導入についても、KGHMは新政権の判断を待っている。

なお、同CEOによれば、ロシアや中国による直接入札参加はないとしつつも、中国については資金面でのコンソーシアム参加の可能性は否定されないと述べている。

**COP21でのシドゥウオ首相スピーチ【30日】**

シドゥウオ首相はパリで開かれているCOP21に参加しスピーチを行った。その中で、ポーランドがこれまで多くの排出削減を達成してきた成果を強調するとともに、COP21での新たな合意においては、全ての国がその署名を行うこと、さらにその合意内容がポーランドの経済はもちろんのこと多くの国の関心を反映したものとなるべきであると述べた。また、ポーランドは緑の気候基金(Green Climate Fund)に対し2020年までに800万米ドル規模の拠出をすることも表明した。

**5社が原発建設計画入札への参画を希望【27日】**

PGE-EJ1社のチホシュCEOは、ポーランド発の原子力発電所建設計画への参画を希望する企業として、日、米、仏、加、韓の5社が関心を有していると述べた。各企業はそれぞれコンソーシアムを組み、技術や資金等の包括的な提案を行うことになる。2015年までに入札手続が開始され、2016年上期までに3者に絞り込まれた後、交渉が行われる予定。

**エネルギー大臣の正式任命【1日】**

ドゥダ大統領は、トフジェフスキ大臣をエネルギー大臣として任命した。これは、エネルギー省設立に必要な法的な手続が完了したことによるもの。エネルギー大臣は国内並びにEUのエネルギー政策を担当するほか、鉱山企業の監督も行うことになる。

## その他

**ポーランド人若者の多くがより高い教育を受けている【26日】**

OECDの図表で見る教育 (Education at a glance) 2015年版によると、公的及び民間資本による教育投資がGDPに占める割合は、ポーランドでは約

4.8%と他国に比べ低い割合になっているという。それにも関わらず、学生の教育レベルも良い結果となっており、初等教育のみを受けた25-34歳人口は6% (2000年は同11%)とより高いレベルの教育を受けている層が増えているという。

## 大使館からのお知らせ

**領事アンケートへの御協力について**

当館では、在留邦人の皆様から当館の領事サービスに対するご意見、ご要望等をお伺いし、領事サービスの向上・改善に取り組んで参りたいと思います。

お忙しい中恐縮ですが、下記リンクより、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryouji\\_anketo20151106.html](http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryouji_anketo20151106.html)

**大使館広報文化センター開館時間**

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター (電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

**ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起**

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

**東日本大震災義捐金受付について**

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm)

## 文化行事・大使館関連行事

**【開催中】展覧会「浮世絵との対話」【9月20日(日)～1月3日(日)】**

クラクフ市の日本美術技術博物館 Mangghaにて、日本の浮世絵展が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/48>

**【開催中】展覧会:「俳優, 人形, 影。中国と日本の演劇」【9月30日(水)～3月13日(日)】**

クラクフ市の日本美術技術博物館 Mangghaにて、日本の演劇に関する展覧会が開催中です。能面, 服装, 小道具, 楽器などが展示されています。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/50>

**【開催中】ポーランドにおける日本美術傑作展【10月12日(月)～1月31日(日)】**

ヴロツワフ市にてヴロツワフ市博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵, 彫刻, 絵画に加え, 根付や屏風, 着物, 楽器, 武具, 刀剣など, 多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: ドルヌィ・シロンスク県, ヴロツワフ市, Pl. Powstańców Warszawy 5

詳細: [http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi\\_wystaw/zapowiedzi\\_wystaw.html](http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi_wystaw/zapowiedzi_wystaw.html)



**【開催中】展覧会「日本武士の世界：武士の魂と芸術家の技量」【10月17日(土)～12月31日(木)】**

グリヴィツェ市にて、グリヴィツェ市博物館主催による展示会『日本武士の世界：武士の魂と芸術家の技量』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、茶道具、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所：シロンスク県、グリヴィツェ市、ul. Dolnych Wałów 8a

詳細：<http://www.muzeum.gliwice.pl/>

**【開催中】展覧会「日本に魅了されて」墨絵・紙人形・油彩展【12月2日(水)～1月15日(金)】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、日本からインスピレーションを受けたポーランド人アーティストによる墨絵・紙人形・油彩展が開催中です。入場無料。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 -584 -73 00, E メール：

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

**【開催中】国際現代デッサン・フェスティバル「Think Tank lab Triennale」【12月3日(木)～1月3日(日)】**

ヴロツワフ市にて、ヴロツワフ市美術大学主催による国際現代デッサン・フェスティバル『Think Tank lab Triennale』が開催中です。日本とポーランドの現代アーティストによる「Two Sticks」展が予定されています。

開催場所：ドルヌィ・シロンスク県、ヴロツワフ市、pl. Polski 3/4

詳細：<http://ttt.wroclaw.pl/en>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)（ご連絡は電子メールでお願いします。）